

令和7年度

東明小だより

令和7年12月23日
第10号



心温まる「ひびきあい集会」



校長 中嶋 聰子

12月16日全校児童が集まって「ひびきあい集会」を行いました。「ひびきあい集会」とは、子どもたちの人権感覚を高めることをねらいとした集会です。とても心温まるよい会になったので紹介します。

始めに、人権について考えました。人権とは、「誰もが生まれながらにてもっている、人間らしく、自分らしくいきることのできる権利」です。子どもも、一人の人間として大切にされ、幸せに生活する権利があることを確認しました。

次に、人権を尊重する体験をしました。全校の児童でジャンケン列車を行いました。担当の教師は、「相手のことを考えて、行動してみるよ。」と子どもたちに投げかけました。実際にやってみると、子どもたちの中には、

- ・後ろにつながる低学年の子のために、少し腰をかがめてつかまりやすくしている姿
 - ・後ろの子がついていきやすいように、ゆっくり進む姿
 - ・みんなが困らないように「こっちだよ。」と声をかける姿 等
- がみられ、ジャンケンに勝って「うれしい」だけではない思いやりと配慮のある活動になりました。

その後、子どもたちが思いやりキャンペーン期間に学年で取り組んだ内容を発表しました。以下がその内容です。

1年生…言葉には、相手の心がうれしくなる力があることがわかった。

2年生…思いやりのある行動をすると相手もうれしいし、自分もうれしくなる。

3年生…よいことみつけでは、思いやりのある行動をした人だけでなく、みつけた人にも拍手をしていること。

4年生…「だれにでも笑顔で話しかける」「困っている人に声をかける」「お世話になっている人に感謝する」ことが思いやりのある行動につながる。

5年生…まわりの人のことを考えて、気持ちよく協力して生活することが大事であること。

6年生…みんなが思いやりのある行動をすることを大切に取組を行った。

最後に、「『思いやりの気持ちをもった行動が、相手の人権を守り、自分の人権も守ること』を実際にやってみて分かったね。」と確かめて終わりました。今後も、子どもたちの人権感覚を磨き、思いやりいっぱいの東明小学校を目指していきます。

学習ボランティアについて

今年度から学校運営協議会の1つの取組として学習ボランティアの活動を取り入れました。学習ボランティアとは、東明小学校の校区にお住いの方に、ボランティアで児童の学習支援と見守りを行っていただくものです。「全ての子に基礎学力を身につけさせたい。」「困ったときにすぐに質問できる、安心して相談できる学習環境をつくりたい。」という考え方から始めています。

今年度は、試験的に「2年生 九九検定」「3年生 そろばん」「5年生 ミシンの基本操作」の学習支援をしていただく予定です。すでに2年生の九九検定には、3回きていただき、子どもたちは、間違えても何回も検定にチャレンジしていました。子どもたちが先生を待つ時間が減りどんどん検定を受けて合格していました。

